

日中言語フォーラムーひと・くに・ことばーを開催しました。

2014年3月23日に中国北京市の北京大学民主楼及び外文楼において、日中言語フォーラムーひと・くに・ことばーを開催しました。本フォーラムは、筑波大学と北京大学が学術交流協定を締結したことを記念し、中国各地から日本語・日本文化の研究者を招いて実施したものです。

フォーラムには、在北京の筑波大学の協定校である北京師範大学、中国人民大学の研究者、および筑波大学と北京大学にゆかりのある研究者約30名が参加し、活発な討論が行われました。

開会式では、主催者の筑波大学人文社会長坪井美樹の挨拶に続き、会場校の北京大学外国語学院長程朝翔先生、在中国日本大使館広報文化センター一等書記官名子学様、ご後援をいただいた日本学術振興会北京研究連絡センター長和田修様、国際交流基金北京日本文化センター所長吉川竹二様からそれぞれご祝辞をいただきました。

また、記念講演は北京大学外国語学院彭広陸先生、東京大学総合文化研究科楊凱榮先生、筑波大学人文社会系矢澤真人先生によって行われましたが、いずれも日本語・日本文化研究や日中対照研究の分野の最先端の研究成果を含む興味深い内容となりました。午後には15の分科会発表が行われ、若手研究者の意欲的な発表が数多く見られました。

【会場の風景】

